



消防千葉

2019 No.570 令和元年8月号

令和元年8月1日 編集兼発行人

千葉縣市原市菊間 783-1 千葉県消防学校内

公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅

TEL 0436 (37) 1710

郵便番号 290-0007

ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>

メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



大原漁港「港の朝市」(いすみ市) 夷隅支部

巻 頭 言

「新たな消防体制の確立に向けて」

野田市消防本部 消防長 菅野 透



野田市は、千葉北西部に位置し、昭和25年に1町3村が合併して県内8番目の市として誕生しました。その後、昭和32年に2村と、平成15年には「平成の合併」として千葉県で初めて、関宿町と合併して現在の姿となりました。管轄人口は154,404人（平成31年4月1日現在）、面積は103.55 km²となり、南北に細長い地形が特徴となっております。

管内は最北端部で利根川、江戸川が分流し、東を利根川、西を江戸川、南を利根運河が流れ、豊かな自然環境となっております。

野田市では平成24年からコウノトリの飼育を始め、これまでに11羽を放鳥しており、コウノトリの野生復帰を通じて、コウノトリの棲める自然と共生する地域づくりを目指しております。

消防体制は、昭和29年10月に自治体消防として発足し、1本部、1消防署、4分署、1出張所を配置し、市内全域の「救急・消防5分以内到着体制」を目標に掲げ、174名の職員が一丸となって市民の安全・安心確保に邁進しているところです。

近年では、消火までに17時間余りを要した工場火災や、広範囲に被害が及んだ爆発工場火災などの大規模火災を経験し、ここ数年全国各地で発生している豪雨災害は周囲を河川に囲まれている野田市にとっては重要な課題であり、市民の消防行政に対する関心が一段と高まっているところです。

そこで水防団も兼ねた消防団が重要な役割を担っており、団組織は30分団26部、団員数638名、常備消防と協力して各種災害に対応しているところです。しかし、全国的な傾向でもある消防団員数の減少は当市でも例外ではなく、団員の確保には苦慮しているところです。

そこで、平成26年度から休止していた「野田市消防委員会」を組織改革して今年度から再開することとし、消防団組織の在り方、団員確保の方策、自治会との連携、更には常備消防についても、多種多様化する各種災害への対応、若手職員の育成、救急件数の増加に伴う組織や出動体制のあり方など様々な課題について議論してまいります。

今後の消防体制を見直すうえで消防委員会の果たす役割に期待するとともに、多種多様化する消防需要や諸課題に正面から取り組み、消防体制の充実強化に努めてまいります。

第55回 市町村消防長・消防団長会議の開催

第55回市町村消防長・消防団長会議が鴨川市の鴨川グランドホテルで、県下各市町村から消防局長、消防長と消防団長等約150名の出席により7月11日・12日の2日に亘って開催されました。

11日の14時から本年度に新たに就任した消防（局）長13名、消防団長5名の計18名の紹介、

小田山消防協会副会長の開会の言葉で始まり、石橋千葉県消防協

会長の挨拶、高橋千葉県副知事及び日本消防協会長（代理銀川業務部長）の来賓祝辞の後、久本消防課長、淡路消防学校校長の来賓紹介並びに千葉県消防協会の副会長の小田山博史、鈴木格、斉藤弘一及び渡邊浩臣の紹介を行いました。



挨拶する石橋会長



高橋副知事の祝辞



日本消防協会銀川業務部長の祝辞

その後、石橋協会長の議長により議事進行が行われ、玉井専務理事から千葉県消防協会の事業計画、主要行事予定及び第55回千葉県消防操法大会の説明、久本防災危機管理部消防課長から千葉県消防広域化推進計画の概要、消防団を中核とした地域防災力の充実強化など防災危機管理部の説明が行われました。淡路校長による消防学校の教育訓練実施計画の説明に続き、銀川日本消防協会業務部長から各共済事業等の説明がなされ、議事は無事終了しました。

休憩後、公益財団法人市民防災研究所理事の池上三喜子講師による「東京くらし防災」地域防災の取り組み事例と題する講演が行われました。

池上三喜子講師は、公益財団法人市民防災研究所理事、一般財団法人消防防災科学センター理事、東京YWCA福社会理事、一般財団法人日本消防設備安全センター評議員などを歴任され、また、無電柱化推進のあり方検討委員会委員（国土交通省）、「女性視点の防災ブック」編集・検討委員会委員（東京都）などの国や自治体の防災関連の委員を務める。現在は講演活動を中心に情報提供を行っているほか、平成5年の釧路沖地震をはじめ、阪神・淡路大震災、東日本大震災、糸魚川市駅北大火など多くの災害調査も行っている。

講演では、都のアンケート調査から「具体的な方法がわからない」という理由で

災害の対策をしていない人のために「東京くらし防災」が生まれたとお聞きしました。毎日の行動や習慣に工夫や発想を加えるだけで防災が暮らしの中で始まると社交場である銭湯を使った救命講習、雨水利用の200リットルタンクの設置、布製の担架など自治会の取り組みなど詳しく説明して頂き、大変興味深く貴重なものとなりました。

夜には、岡本和貴防災危機管理部長、亀田郁夫鴨川市長、木下敬二県議会議員、川名康介県議会議員、の出席を得て、交流会が盛大に行われました。



講師 池上三喜子



石橋会長



岡本防災危機管理部長



亀田鴨川市長



木下県議会議員



川名県議会議員

第55回 千葉県消防操法大会の開催

(令和元年7月27日、於千葉県消防学校)

千葉県と(公財)千葉県消防協会が主催(後援(公財)日本消防協会)する第55回千葉県消防操法大会が、7月27日(土)千葉県消防学校において盛大に開催されました。

市原市に移転して最初の大会となりました。当日は晴天のなか、県内の消防関係者や応援の家族等を含め約2,000名が参加、県内の各支部(10支部)から厳しい予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法の部12チーム、小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

会場の消防学校のグラウンドには、各出場チームのテントが立ち並び、必勝祈願の幟旗が翻って、応援団も盛り上がっていました。



テント集合



斉藤総指揮者

午前9時、斉藤弘一印旛支部長の総指揮者宣言による整列の後、小田山博史協会副会長の開会のことば、国旗掲揚、殉職者に対する黙とう、表彰旗返還等の後、大会名誉会長森田健作千葉県知事、大会会長石橋毅千葉県消防協会会長から挨拶がありました。



森田千葉県知事



石橋消防協会会長

阿井仲也県議会議長、清水聖士(鎌ヶ谷市市長)市長会会長及び佐藤晴彦(横芝光町長)町村会代表からの来賓祝辞、倉田消防協会最高名誉顧問等からの祝電披露の後、富津市消防団角田老俊から出場団員代表宣誓が行われ、消防操法の競技が開始されました。



阿井県議会議長



選手宣誓

各消防団から持ち込まれたポンプ車及び小型ポンプによる操法競技が開始され、各消防局、消防本部から選抜された審査員が厳しく審査する中、各チームの指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、会場からはそれぞれ自分の団のチームに対し、盛大な歓声が上がっていました。

ポンプ車 操法競技



小型ポンプ 操法競技



競技終了後、休憩時にはアトラクションとして柏市消防音楽隊による演奏が行われました。

また、11月13日横浜市で開催される第24回全国女性消防操法大会に千葉県代表として出場する浦安市女性消防隊の模範演技も披露されました。

審査の結果は、淡路武夫審査長（千葉県消防学校長）から発表され、それぞれ団体の部、個人の部で栄えある受賞をされました。

成績の一覧は下表のとおりです。



柏市消防音楽隊による演奏



浦安市女性消防隊の皆様

★ 団 体 の 部 成 績

ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部	
順 位	消防団名	順 位	消防団名
最優秀賞	山武市消防団	最優秀賞	我孫子市消防団
優 秀 賞	市川市消防団	優 秀 賞	横芝光町消防団
優 良 賞	浦安市消防団	優 良 賞	柏市消防団
努 力 賞	いすみ市消防団	努 力 賞	成田市消防団
//	匝瑳市消防団	//	旭市消防団
//	富津市消防団	//	八街市消防団
//	八街市消防団	//	君津市消防団
//	栄町消防団	//	市原市消防団
//	長生郡市広域市町村圏組合消防団	//	長生郡市広域市町村圏組合消防団
//	館山市消防団	//	鴨川市消防団
//	習志野市消防団	//	いすみ市消防団
//	香取広域市町村圏事務組合多古町消防団	//	神崎町消防団

★ 個 人 の 部 成 績

ポンプ車操法の部			小型ポンプ操法の部		
順 位	消防団名	氏 名	順 位	消防団名	氏 名
最優秀指揮者	八街市消防団	宮崎 郁朗	最優秀指揮者	横芝光町消防団	伊藤 卓也
最優秀1番員	山武市消防団	鶴澤 和弘	最優秀1番員	成田市消防団	石井 隼人
最優秀2番員	市川市消防団	三谷 昌秀	最優秀2番員	横芝光町消防団	並木 歩夢
最優秀3番員	いすみ市消防団	岩瀬 一輝	最優秀3番員	横芝光町消防団	林 優
最優秀4番員	山武市消防団	鈴木 善己			



目良和夫 協会顧問会会長の万歳三唱

第24回 全国女性消防操法大会に向けて

令和元年11月13日（水）に横浜市赤レンガ倉庫イベント広場で開催される第24回全国女性消防操法大会に「浦安市女性消防隊」が千葉県代表として出場することになりました。

浦安市消防団女性分団は、平成15年11月1日に発足し、現在分団長以下31名で構成され、各種訓練や火災予防啓発活動、救命講習会の実技指導などを行い、地域防災力向上のため積極的に活動しています。全国女性消防操法大会は、平成21年度に「優良賞」、平成25年度に「優秀賞」を収め、今回で3度目の出場となりますが、今大会では「全国大会優勝」という目標を掲げ訓練に取り組んでおります。大会本番まで、努力を重ねてまいりますので皆様の応援をお願いいたします。



消防団長 大川 三敏
 隊長 五月女 香代子
 指揮者 榎本 香奈
 1番員 澤田 佳乃子
 2番員 西 未雲
 3番員 堀内 かおり
 4番員 上野 恵理子
 補助員 松崎 映里



わが町の消防団 九十九里町消防団

九十九里町は、黒潮踊る雄大な太平洋に面し、総延長約66kmにも及ぶ九十九里浜のほぼ中央に位置し、古くから海水浴場として名をはせてきました。美しい海岸線やきらめく水平線、開放感あふれる全国屈指の海岸は、どこよりも遠浅で広く、明るく、きれいで三拍子そろったマリインレジャーの宝庫となっています。サーフィンなどのビーチスポーツをはじめ、シーズンを問わず、ハマナシやハマヒルガオなどの豊かな自然を楽しむことができます。



九十九里町消防団は、8分団19部で構成され、本部指揮車1台、消防ポンプ自動車（水槽付）10台、消防ポンプ自動車5台、小型動力ポンプ付積載車（水槽付）4台、資機材運搬車1台を配備しています。また、平成31年3月から消防庁の車両等無償貸付制度により、幅広い活動に活用できる救助資機材・小型動力ポンプ積載多機能車も配備しました。全331人の団員は、九十九里町民約1万6千人、町面積24.46km²の安全・安心の守り人と

して、昼夜を問わず献身的な活動を続けています。

消防団の主な行事としては、年初めの消防出初式をはじめ、規律訓練、中継訓練、町消防ポンプ操法大会、火災予防週間及び歳末特別警戒期間の広報・啓発活動や普通救命講習を実施し、様々な形で地域住民の安心に寄与しています。特に、町消防ポンプ操法大会は、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図るとともに団員相互の連携を密にし、地域消防力の強化と消防活動の円滑化を目的として開催しています。大会訓練期間は各部が優勝を目指し、それぞれの本業の合間をぬって長時間に渡る訓練を実施しており、大会当日は磨き上げた操法技術の正確さと速さを競い合



い、大きな盛り上がりを見せています。

また、本町は海岸に接し、平坦な地形であり、高潮や津波などの自然災害を受けやすい地域となっていることから、海難救助訓練や水防訓練も実施しており、多種多様な災害・事故に対応できるよう体制を整えています。さらに、各部においては月に一度、管轄区域の消防水利の点検を実施し、災害に備えています。



東日本大震災以降、消防団を中核とした地域防災力の充実強化が謳われており、消防団への期待、所望が強くなってきています。その中で、消防団員数の確保、装備の充実を図り、地域防災の担い手として活動し、地域住民が安心して暮らせる町づくりに貢献していきたいと考えております。

東 西 南 北

東 西 南 北 車座研修会 松戸市小金消防署

この度、松戸市小金消防署では、今年度、第2回目となる「車座研修会」を開催いたしました。この研修会は、採用10年未満の若手職員16名が参加して、気軽に意見交換や悩みを分かち合い、近くに相談できる仲間がいることの気づき、重要なコミュニケーション要素の1つである「共感・共有」を図ることを目的といたしました。今回の研修会が、ハラスメントなどの不祥事防止に繋がり、十分な意思疎通が図られた職場環境の醸成が出来たことと感じております。



東 西 南 北 安全管理対策研修会 松戸市小金消防署

この度、松戸市小金消防署では、災害時の消防活動時の安全管理対策研修の一環として、消防大学校救助科を修了した救助隊員を講師としてフィードバック研修会を開催いたしました。松戸市消防局内全所属から57名の参加があり、災害現場の事故の報道や、ヒヤリハットの事例を講義内容とし、それについて各所属の隊ごとにグループ討議を行う方式で実施しました。所属の垣根を越え、消防隊、救急隊、毎日勤務者との活発な意見交換ができました。



東 西 南 北 ファイヤーコントロールボックスを使用した検証会を実施 松戸市八ヶ崎消防署

松戸市八ヶ崎消防署は3月11日、職員一人一人が火災の性状を理解し、どのようにして消火活動に従事すれば良いかを学ぶため、松戸市消防訓練センター内にて教養及び模型家屋（ファイヤーコントロールボックス）を使用した燃焼実験を行った。燃焼実験では、木製模型家屋及びびー斗缶を使用し火と煙の動きやフラッシュオーバー等が発生する原理、ドアコントロールの効果を確認するとともに、放水による熱層の乱れや過熱水蒸気による吹き返しの防止を考慮した効率的な消火方法についても検証した。燃焼実験には市内消防署より74名が研修に参加した。



東 西 映像と音楽を交えた「音楽隊員による消防広報」を実施 南 北

千葉市消防局

3月16日(土)千葉市民会館で、千葉市消防音楽隊「第3回定期演奏会」を開催しました。3部制で構成し、1部と3部は演奏を楽しんで頂き、2部は「広報ステージ」と題し、様々な消防広報を行っています。

今回は、千葉市消防局で運用している「消防ヘリによるドクターピックアップ方式での救急活動」を、映像と音楽を交え、音楽隊員が寸劇を行い、広報しました。

アンケートでは「実際の災害活動を見ているようで凄かった!」との意見を多数頂きました。

これからも千葉市消防音楽隊は、効果的な広報活動を行います。



東 西 災害時等における消防用水の供給支援に関する協定を締結 南 北

千葉市消防局・市原市消防局・四街道市消防本部

千葉市消防局・市原市消防局・四街道市消防本部では、平成31年3月20日(水)、千葉市・市原市・四街道市の3市と、3市を管轄する千葉中央生コンクリート協同組合及び同組合に加盟する11社において「災害時等における消防用水の供給支援に関する協定」を締結しました。

この協定は、千葉市・市原市・四街道市の3市域における大規模火災等の発生時において、3市を管轄する民間事業社の生コンクリートミキサー車を活用した消防用水の搬送体制を確保するとともに、迅速な放水体制の確立を図るため、3市において消防用水の補給及び仮設貯水槽等の必要な資機材の確保についても相互に協力することとしております。

今後は、本協定に基づく連携訓練等を行い、強固な協力体制を確立してまいります。



東 西 松戸市中央消防署新庁舎開署記念式典 南 北

松戸市中央消防署

災害活動拠点として相応しい規模、機能、設備等を備えた松戸市中央消防署が完成し、平成31年4月1日に開署しました。

同月19日には、新庁舎の完成を祝い、地域の方々をはじめ関係者の出席のもと、開署記念式典及び庁舎の内覧を行いました。新庁舎は、2020年度中に運用開始予定の「ちば北西部消防指令センター(10市)」との複合拠点施設で、自家用発電機(72時間対応)2機及び自家用給油施設を備えています。

また、太陽光発電設備及び雨水貯留槽を設置し、庁舎内外はバリアフリー化し誰もが安心して利用できる施設であります。

市民の皆様が安心・安全に暮らせる生活環境を実現するため、更なる消防体制の充実強化に努めます。



東西南北 日勤救急隊の試行運用を開始 松戸市消防局

松戸市消防局（島本幸夫消防局長）は、令和元年5月1日から、日勤救急隊の試行運用を開始した。

この試みは、平日の日勤時間帯に運用する「消防局救急隊」を救急課に試行配置し、年々増加する救急需要対策の効果を図ることを目的とし、政府が推進する働き方改革に基づき、職員の生活環境の多様性に適う試行的な勤務体制を実施する。

松戸市消防局管内における昨年の救急出場件数は、26,516件で、前年より1,134件多く、過去最多を更新した。

今後も、高齢化の伸展に伴い、救急需要の増加が見込まれることから、日勤救急隊の試行運用により、救急隊の現場到着時間の短縮及び救急隊員の労務負担軽減を期待している



東西南北 安全管理対策研修会の開催 松戸市中央消防署

この度、松戸市中央消防署では、災害時の消防活動時の安全管理対策研修の一環として、消防大学校救助科を修了した救助隊員を講師として第一方面本部研修会を開催いたしました。松戸市消防局内各所属から53名の参加があり、災害現場の事故の報道、ヒヤリハット事例、熱中症対策を講義内容とし、グループ討議を盛り込み実施しました。所属の垣根を越え、消防隊、救急隊、毎日勤務者との活発な意見交換ができました。



東西南北 夜間合同立入査察を実施 千葉市消防局

千葉市消防局では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、令和元年5月17日（金）に千葉県警察と合同で千葉市中央区の繁華街に所在する雑居ビルに対して、未通告で立入検査を実施しました。

立入検査では主に防火管理業務の状況や避難施設の維持管理状況について確認を行い、防火管理者未選任、消防訓練未実施、避難施設に物品等の存置による避難障害等を指摘しました。また、避難施設にソファやダンボール等を放置していたテナントに対し、消防法第5条の3第1項に基づく除去命令を発動して物品を除去させる等、効果的な立入検査となりました。

引き続き、大会関連施設に対して重点的な立入検査を実施し、更なる安全・安心の推進に努めてまいります。



東西南北 幼年消防クラブ救助訓練見学会を実施

船橋市消防局

船橋市消防局では、5月27日～28日に、幼年消防クラブ員を対象とした救助訓練見学会を、4月に開署しました、市内初となる消防訓練センターで実施しました。幼年消防クラブ向けの救助訓練の見学会は初めてであり、大会を目前とした救助隊の訓練を間近で見学できる貴重な機会となり、園児らも大興奮の様子でした。

約200名の園児の見学をうけて、隊員達は救助大会に向けた技術はもちろん、大会で良い成績を収められるよう、モチベーションを高めることができました。

今後も訓練センターでの見学会の機会を設け、子どもたちの防火・防災への意識高揚を図ることで、市全体の火災予防に繋げて参りたいと思います。



東西南北 JR千葉支社・千葉県警察との合同救出訓練を実施

千葉市消防局

5月29日千葉市美浜区にある京葉車両センターを使用し、合同救助訓練を実施しました。爆発物により線路が変形し、列車が脱線、多数の負傷者が出たという想定のもと、要救助者の救出と搬送を担当しました。

線路上という足場の不安定な状態で活動を行うため、重症者や車いすに乗った乗客の救出が、より困難を極めました。また、来年に行われるオリンピック・パラリンピックに備え、それぞれの連携を確認することができました。

皆様に安心感をもって利用していただくためにも、非常に有意義な訓練となりました。これからも、市民の皆様に安全・安心に過ごしていただけるよう、努力していきます。



東西南北 震災対応訓練を実施

千葉市消防局

千葉市消防局では、令和元年6月8日(土)に「震災対応訓練」を実施しました。

本訓練は、同日朝6時に千葉市直下を震源とするマグニチュード7.3の地震により市内に震度6強の地震が発生し、甚大な被害が発生したことを想定して行われ、発災後、自宅にいた消防職員は、徒歩・自転車・オートバイを用い、いち早く消防署所等の勤務地に駆け付ける「参集訓練」を行いました。

また、消防局内に「消防対策本部」、市内6消防署に「方面指揮本部」を設置し、ブラインド型ロールプレイング方式の図上訓練(シナリオ非提示型シミュレーション訓練)を行い、迅速・的確な情報の受伝達、正確な被害状況の把握及び効果的・効率的な部隊運用等について実施・検証を行うなど、大規模地震発生時における消防即応体制の更なる実強化を図りました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和元年 8月

21日 令和元年度防火・防災ポスター表彰式



2019年度 全国統一防火標語
「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

令和元年
夏の交通安全運動
7月10日(水)から7月19日(金)
スローガン
～ とび出さない いったんとまって みぎひだり～

<表紙の説明>

大原漁港「港の朝市」(いすみ市) 夷隅支部

平成25年度から始まった「港の朝市」。当初は月1回開催であったが、好評を博し、翌年度より月2回開催となり、平成28年度からは毎週日曜日開催となった。

港の朝市では、市内で採れた旬な農産物や、水揚げされたばかりの海産物を筆頭に、お酒や飲み物、加工品やアクセサリなど、様々なものが店先に並んでいる。

出店以外では、イセエビ漁が最盛期を迎える8月～9月に「イセエビまつり」、タコ漁が最盛期を迎える1月～3月に「タコしゃぶまつり」を開催しており、開催当初から行っている手ぶらでのバーベキュー体験は大好評で、港の朝市の名物となっている。

